

医学系研究に関する情報公開および研究協力をお願い

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	特発性肺線維症(IPF)以外の間質性肺炎急性増悪の臨床的検討
研究責任者	聖隷浜松病院 呼吸器内科 中村 秀範
研究実施体制	研究責任施設 聖隷浜松病院 呼吸器内科
研究期間	2017 年 10 月 1 日 ～ 2020 年 9 月 30 日
対象者	聖隷浜松病院呼吸器内科に通院または入院した患者のうち、間質性肺炎急性増悪をきたした症例。
研究の意義・目的	急性増悪とは、特発性肺線維症(idiopathic pulmonary fibrosis: IPF)の慢性経過中に両肺野に新たな肺の浸潤影の出現とともに急速な呼吸不全の進行がみられる予後不良な病態として認識されている(Chest 1993; 103: 1808-12., AJRCCM 2016; 194: 265-275.)。その後、IPF 以外の慢性間質性肺炎においても発症することが報告されているが(Respir Med 2009; 103: 846-53., Chest 2007; 132: 214-220.)、IPF 以外の間質性肺炎急性増悪における臨床像や予後に関しては未だ不明な点が多い。 本研究では、IPF 以外の間質性肺炎急性増悪に着目し、IPF 急性増悪と比較して、その臨床像や予後について明らかにすることを目的とする。
研究の方法	研究デザイン 後方視的観察研究 方法 対象患者について、診療録から以下の項目の調査を行い、臨床像および予後因子に関して統計ソフト(JMP®)を用いて解析する。 年齢、性別、喫煙歴、BMI、診断、重症度、GAP(Gender-Age-Physiology)スコア、血液検査(PaO₂、KL-6、SP-D)、肺機能(FVC、DLco)、BAL、治療内容(安定期および急性増悪時)、予後
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 呼吸器内科 (氏名) 河野 雅人

	TEL:053-474-2222(代表) 呼吸器内科外来 9:00~17:00 平日
--	--